



広 報

2025年

6

月号

編集委員 黒須俊行 南出美佐 前原直之



※地区研修会のお知らせ

令和7年8月23日（土）に、地区研修会を開催する予定です。
詳細は追ってお知らせいたしますが、管理薬剤師の先生はご参加ください。

都薬関連およびその他の重要な連絡事項など

1) 「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック 2025年版」の配付について

日本薬剤師会ではアスリート等による“意図しない(うっかり)ドーピング”の防止及び教育啓発等に貢献すべく活動の一環として、「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」を毎年発刊しています。

※禁止物質などは毎年更新されます。2024年版と必ず差し換えてください。

※本書使用方法是巻頭にある「問い合わせ対応手順」をご参照ください。

2) 令和7年度 薬学講習会の開催について

開催日時：令和7年8月31日（日）13:00～16:25（予定）

開催形式：集合研修（※オンライン研修はありません）

会 場：「東京国際フォーラム ホールA」千代田区丸の内 3-5-1

定 員 数：2,000 名

受 講 料：テキスト代 500 円（申込時にクレジットカード決済）

申込方法：都薬ホームページ「お知らせ」より、受付開始予定（7月上旬頃）

単位認定：東京都薬剤師会（G26）認定2単位（予定）

3) 医療事故情報収集等事業「医療安全情報 No. 222」の提供について

日本医療機能評価機構より、「医療安全情報 No. 222」が公表されました。

医療事故の発生予防、再発防止のためにご活用ください。

※日本医療機能評価機構ホームページをご参照ください。

https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_222.pdf

4)「医療機関等における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査」に係るご協力をお願い

独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)より通知がありました。

今般、同機構において「医療機関等における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査」を実施することとし、全国の保険薬局より無作為に抽出された5%の施設を対象にしています。対象薬局には6月中旬を目途に管理薬剤師宛に調査票が郵送されます。回答方法はWebページへの入力もしくは紙面への記入から選択が可能です。

本調査の結果は、臨床現場における適切な医薬品安全性情報の入手・伝達・活用方策等のあるべき姿を提言し、医薬品の安全使用の推進に活用されます。ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和7年度資料 > 令和7年6月資料
https://drive.google.com/file/d/1nWjtkEGdljzwbey.GlbkhD9ziX722dhC/view?usp=drive_link

5)「一般用新型コロナウイルス抗原定性検査キットに係る製造販売承認申請の取扱いについて」及び「一般用SARSコロナウイルス抗原・インフルエンザウイルス抗原キットに係る一般用検査薬の製造販売承認申請の取扱いについて」一部改正について

厚生労働省医薬局医療機器審査管理課長から通知がありました。

一般用新型コロナウイルス抗原定性検査キットに係る製造販売承認申請の取扱いについては令和4年8月18日付け日薬業発第176号にて、また、一般用SARSコロナウイルス抗原・インフルエンザウイルス抗原キットに係る一般用検査薬の製造販売承認申請の取扱いについては同12月2日付け日薬業発第325号にてお知らせしたところですが、今般、両取扱いについて一部改正がなされました。

詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和7年度資料 > 令和7年6月資料
https://drive.google.com/file/d/1Gv1UMyG-hhx-vJFzL0_gL9KgQiUJmVjT/view?usp=drive_link

6) 緊急避妊薬の適正販売に係る環境整備のための調査事業報告書の公表について

厚生労働省より事業報告書が公表されました。

令和7年度においても調査研究を継続実施しておりますところ、本報告書の結果等もご活用いただきながら、都道府県における事業実施体制につき引き続きのご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和7年度資料 > 令和7年6月資料
https://drive.google.com/file/d/1zQqfYE6Kqe5KpQuzgGRXKw7zTMG-5xb0/view?usp=drive_link

豊島区薬剤師会からの連絡事項

1) 豊島区薬剤師会総会のご報告

令和6年6月24日（火）、豊島区薬業会館において豊島区薬剤師会総会を開催いたしました。
全ての議案が可決されましたことをご報告させていただきます。

また都薬代議員・予備代議員選挙の結果、以下の通り選任されたことをご報告いたします。

【代 議 員】 ○ 佐野 雅昭 ○ 江村 公良

【予備代議員】 ○ 伊原 孝子 ○ 原田 由紀子

2) 【再掲】高齢者の服薬情報提供事業へご協力をお願い

当会と豊島区との共同事業「高齢者の服薬情報提供事業」へのご協力をいただき誠にありがとうございます。
該当すると思われる患者へのお声掛けもお願いいたします。

なお、患者さんが来局され対応された先生は、引き続き翌月 10 日までに事務局まで所定の用紙にて
報告をいただきますようお願いいたします。

3) 【再掲】豊島区薬剤師会ホームページについて

地域における夜間・休日の医薬品提供体制の構築及びリストの公表を行っています。

【リストの掲載場所】

豊島区薬剤師会HP → 区民向けご案内 → 薬局をさがす（地図またはリストで探せます）

■ <https://www.toyoyaku.jp>

■ 会員専用ページのID、PWはいずれも「toshima」です。

今後とも、内容の充実を図るとともに、よりわかりやすい情報を発信してまいりますので、何卒よろ
しくお願い申し上げます。

会員退会

林 洋子	(A)	天洋堂薬局	池袋本町 1-38-8
鈴木 源司	(A)	フクロ薬局	巣鴨 3-27-8

会員入会

池崎 美津子	(A)	フクロ薬局	巣鴨 3-27-8
--------	-----	-------	-----------

会員数報告

A 会 員	106	名
B 会 員	10	名
賛助会員	2	名
合 計	118	名



保険部より

1) 令和7年度版「薬局におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」 及び令和7年度版「医療機関等におけるサイバーセキュリティ対策 チェックリストマニュアル～医療機関等・事業者向け～」について

厚生労働省医政局参事官、同医薬局総務課長より、通知がありました。

薬局におけるサイバーセキュリティの確保については、令和5年10月25日付け日薬情発第99号にて、薬局におけるサイバーセキュリティ対策チェックリストをご参照の上、ご活用いただくようご案内いたしました。本通知は令和7年度版として項目の見直しを行ったものです。医療機関に対するサイバー攻撃が増加する中、サイバーセキュリティにおいても対策が※義務化されておりますので、チェックリストおよびチェックリストマニュアルをご参照いただき、ご活用ください。

※薬局におけるサイバーセキュリティの確保については、令和5年4月1日に施行された医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則の一部を改正する省令で薬局の管理者の遵守事項として、必要な措置を講じることを明確化され、サイバーセキュリティ対策が義務化されました。

- ・チェックリスト

<https://www.mhlw.go.jp/content/10808000/001490744.pdf>

- ・マニュアル

<https://www.mhlw.go.jp/content/10808000/001490745.pdf>



サイバーセキュリティ対策に関しては以下のページにも雛形等がございますのでご活用ください。

- ・日本薬剤師会

<https://www.nichiyaku.or.jp/yakuzaishi/pharmacy-info/cybersecurity>

- ・東京都薬剤師会

<https://www.toyaku.or.jp/contribution/member/community/bcp.html>

2) 医薬品・医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の 一部を改正する法律の公布について

厚生労働省医薬局総務課長および医政局医薬産業振興・医療情報企画課長より通知がありました。

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律案につきまして、令和6年2月20日付け日薬業発第442号にて、また同法律等の成立につきましては、令和7年5月14日付け日薬発第62号にてお知らせしたところです。

今般、令和7年5月21日に同法が公布され、順次施行されるほか、これに伴い、医療法、麻薬及び向精神薬取締法、薬剤師法等の関係法の一部改正も行われます。

詳細については別添資料をご参照ください。

詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > その他資料 > 令和7年度資料 > 令和7年6月資料

https://drive.google.com/file/d/1vqRxoUG2B2QGwaf8Pop7dCnvGaJeQEdf/view?usp=drive_link

3) 「医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業」について

令和6年度における「医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業」の実施については、令和6年12月6日付け日薬業発第323号ほかにてお知らせ済ですが、今般、助当該助成金の申請期限について、「令和7年9月30日」と設定されました。

補助金の内容は、

- ①病院：上限23.8 万円 ※事業費（上限56.6 万円）の1/2 を補助
- ②大型チェーン薬局：上限3.6 万円 ※事業費（上限7.3 万円）の1/2 を補助
- ③診療所、②以外の薬局：上限5.4 万円 ※事業費（上限7.3 万円）の3/4を補助となっております。

医療機関等向け総合ポータルサイト > 医療扶助 > 医療扶助について（オンライン資格確認）> 医療扶助におけるオンライン資格確認等導入に係る助成金について

https://iryohokenjyoho.service-now.com/csm?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0010217

4）使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について

厚生労働省保険局医療課から連絡がありました。

後発医薬品の薬価基準収載（令和7年厚生労働省告示第179号）及び 揭示事項等告示の一部改正（令和7年厚生労働省告示第180号）等に関するものです。また、今回の薬価基準の改正に伴い、「「診療報酬における加算等の算定対象となる後発医薬品」等について」（令和7年3月7日付け保医発0307第2号）を改正するほか、一部の医薬品については薬価基準の一部改正に伴う留意事項が示されています。今回の一部改正は、令和7年6月13日より適用となります。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > その他資料 > 令和7年度資料 > 令和7年6月資料

https://drive.google.com/file/d/1Flc3lJvA4cnrBNBfjAF1x9gvwVdLIuVJ/view?usp=drive_link

5）「療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める 揭示事項等の一部改正等について

厚生労働省保険局医療課から連絡がありました。

療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める揭示事項等（平成18年厚生労働省告示第107号）及び特掲診療料の施設基準等（平成20年厚生労働省告示第63号）に関するものです。

今般、クロバリマブ製剤が、①処方箋で交付することができる注射薬、②在宅自己注射指導管理料（医科点数表）等の対象薬剤として追加されたことに伴い、揭示事項等が一部改正されました。今回の一部改正は令和7年厚生労働省告示第173号をもって改正され、令和7年6月1日より適用となります。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > その他資料 > 令和7年度資料 > 令和7年6月資料

https://drive.google.com/file/d/1uPCRfT5bzLy3KxwhJD5K0pj4t9hgl0sy/view?usp=drive_link

6）後期高齢者医療資格確認書の一斉更新に伴う周知用ポスター・チラシの送付 について

後期高齢者医療広域連合が被保険者全員に対し、今年7月に資格確認書の発行・送付を行うことから周知用のポスター、チラシを、事務局より各薬局に送付いたします。

揭示および周知をお願いいたします。

7）【再掲】保険に関する情報は「豊島区薬剤師会保険部グループページ」を ご覧ください

豊島区薬剤師会では保険関係の情報を細かく伝達するために、専用ページを設けております。

URLより通知等の原文のPDFが閲覧可能です。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > googleドライブはこちら

<https://drive.google.com/drive/u/1/folders/1Izvj16An3GWZy3JDSlgLSOTVlAwLkDRX>



8) 【再掲】 保険関係のお問い合わせについて

eST-aidにてご案内しましたが、豊島区薬剤師会ホームページに問合せフォームを作成いたしました。なお、ご回答にはお時間をいただく場合もありますこと、ご承知おきください。

◆保険関係お問い合わせフォーム

<https://forms.gle/HG1TfHsmiYiJkuHW9>

豊島区薬剤師会ホームページ → 会員専用ページ → 保険部より
会員専用ページに入るにはユーザー名・パスワードが必要です。
会員専用ページのID、PWはいずれも「toshima」です。



学術部より

1) 豊島区薬剤師会学術勉強会のお知らせ

7月の勉強会は次のとおり実施いたします。

日時：令和7年7月17日（木）19:45-21:30

場所：情報通信機器（Zoom）を用いて実施いたします。

内容：【学術講演】『オレキシン受容体拮抗薬について』

講師：エーザイ株式会社 北川 和

【特別講演】『今日からできる睡眠指導』-睡眠の基礎から不眠治療・睡眠薬の使い方まで-

講師：東京医科大学睡眠学講座 客員教授

睡眠プライマリケアクリニック池袋/秋葉原 志村 哲祥 先生

☆今回の勉強会は東京都薬剤師会薬剤師生涯研修認定制度の認定単位1点となります。

☆申し込みを豊島区薬剤師会HPからの参加登録のみに限らせて頂きます。

☆申し込み方法：豊島区薬剤師会HPにアクセス→「勉強会・研修会情報」→

「お申し込みはこちら」をクリック→必要事項を入力し送信

☆参加受付開始日時：令和7年7月1日（火）9:00～7月11日（金）12:00

☆ご参加を事前申し込み70名様までと限らせて頂きます。

☆認定単位をご希望の方で薬剤師免許証コピー未提出の方は薬剤師免許証のコピーのFAXをお願いいたします。（過去に提出されていれば結構です。）



2) 【再掲】 勉強会・研修会の単位付与について

豊島区薬剤師会の勉強会・研修会は、情報通信機器を用いた研修を中心に実施しております。

情報通信機器を用いた研修の視聴確認は、WEBシステム上のログとキーワードの確認によって行っております。単位は個人への付与であることから、各自のログが必要であることと、視聴確認の観点から、キーワードの提示は不定期であり、かつ複数回の提示はないことをご理解いただきますようお願いいたします。

なお、単位付与の基本的な考え方について豊島区薬剤師会ホームページに掲載しておりますので、ご確認いただくようお願いいたします。

薬学生実務実習関係

1) 実務実習指導薬剤師の方々へのお知らせ

6月4日に豊島区薬業会館にて集合研修（実習生10名、指導薬剤師2名）を行いました。
 今後はOTC研修、学校薬剤師実習も予定しています。
 また、7月9日、懇親会を開催いたします。
 何かお困りのことがありましたらいつでも相談を受け付けております。



地域医療/多職種連携担当より

1) 池袋あうる薬局輪番

6月の輪番は以下の通りです。出勤よろしく願いいたします。

お願い ～輪番に入る7日前までに、出勤する方の氏名をあうる薬局まで連絡してください。

7月	日勤 9:00～16:00		準夜 16:00～22:00	
		事務兼務		事務兼務
5日(土)			すず薬局上池袋店	河添
6日(日)	マロン薬局 目白店	佐藤	池袋駅前げんき薬局	南出
12日(土)			チチブ薬局	前原
13日(日)	【個B】畔原篤 (アスト薬局巣鴨店)	本多	よつば薬局 池袋西口店(K)	南出
19日(土)			ヒバリ薬局(T)	藤平
20日(日)	ホサカ薬局	黒須	うずらやま薬局	黒須
21日(月)	上池袋薬局	黒須	さの薬局(A)	黒須
26日(土)			あけぼの薬局 南長崎店	河添
27日(日)	椎名町薬局	北川	池袋萬盛堂薬局	南出

2) 長崎休日診療所派遣

7月の輪番派遣は以下の通りです。出勤よろしく願いいたします。

7月	6日(日)	池袋萬盛堂薬局
	13日(日)	池袋萬盛堂薬局
	20日(日)	デイジー薬局 東池袋店
	21日(月)	池袋萬盛堂薬局
	27日(日)	長崎調剤薬局



3) 医薬品・情報管理センター報告（令和7年5月）

5月

○相談件数

薬局からの処方箋応需	7
患者からの処方箋応需	5
医療用医薬品についての相談	2
医療機関紹介	2
一般用医薬品についての相談	0
その他	5
合計	21

○管理センター売上及び仕入

売上	¥1,993,924
仕入	¥2,542,417

○池袋あうる薬局処方せん受付状況

休日・夜間	115 枚
その他	372 枚
合計	487 枚

○情報発信2025.6

熱中症予防情報



豊島区では、熱中症予防の取組みの一環として、令和7年4月23日(水曜日)から10月22日(水曜日)まで、厳しい暑さを一時的にしのぐために誰でも気軽に立ち寄って冷房の効いた空間で休憩できる「としま涼みどころ」として43の区の施設を開放しています。豊島区薬剤師会はこの取組みに協力しており、「涼みどころ薬局」として区内34の薬局(令和7年6月16日時点)にご協力いただいています。詳細は豊島区HPで紹介されていますのでぜひご覧ください。

近年では、毎年夏になると毎日のように最高気温と熱中症の救急搬送のニュースを耳にします。天気予報では最高気温の予想からの真夏日、猛暑日といった予報に加え、熱中症予防(注意)情報が発表されるようになっていきます。熱中症予防情報は「危険」、「厳重警戒」、「警戒」、「注意」、「ほぼ安全」などの分類を色分けして表示されているのを目にしますが、どのような基準で分類されているのか調べてみました。

熱中症は気温だけでなく、湿度や日射・輻射(ふくしゃ)といった周辺の熱環境が大きく影響します。熱中症予防情報は人体の熱収支に与える影響の大きい、人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した「暑さ指数」という指標を基準として、日常生活(日本気象学会)、運動時(日本スポーツ協会)、職場(厚生労働省)における指針が示されています。私たちがテレビの天気予報で目にするのは、運動時に関する指針に基づいた熱中症予防情報のようです(下表)。

暑さ指数(WBGT(湿球黒球温度): Wet Bulb Globe Temperature)は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標で、黒球温度(黒に塗装された薄い銅板の球(中は空洞で直径約15cm)の中心に温度計を入れて測定)、湿球温度(水で湿らせたガーゼを温度計の球部に巻いて測定)及び乾球温度(通常の温度計)の3種類の温度を同時に測定できる装置で測定された数値をもとに算出されます。暑さ指数は労働環境や運動環境の指針として有効であると認められ、ISO等で国際的に規格化されています。(公財)日本スポーツ協会では1994年に「熱中症予防運動指針」、2006年には環境省が「熱中症予防情報」サイトを開設し、web上で国内各地の暑さ指数(WBGT)の情報を提供する仕組みの運用を開始しました。労働環境では世界的にはISO 7243、国内ではJIS Z 8504「WBGT(湿球黒球温度)指数に基づく作業者の熱ストレスの評価―暑熱環境」として規格化されています。

暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
28以上 31未満	嚴重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
25以上 28未満	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
21以上 25未満	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など

出典：豊島区 HP 「としま涼みどころ」について

<https://www.city.toshima.lg.jp/046/bosai/kikikanri/2503061456.html>

環境省 熱中症予防情報サイト <https://www.wbgt.env.go.jp/>

文責 本多

4) 薬事日報からの今月の気になるトピック

☆【厚労省検討会議】緊急避妊薬OTC化を議論-薬剤師の面前服用は必要

医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議が5月23日に開かれ、あすか製薬が承認申請した緊急避妊薬「ノルレボ」のスイッチOTC化をめぐる議論した。市民団体の構成員は「薬剤師の面前服用が不要」「年齢制限・親の同意が不要」とする緊急避妊薬の販売体制を求めたが、多くの委員は年齢制限や親の同意を不要とする提案には賛同しつつ、スイッチOTC化には薬剤師の面前服用を条件とするよう求めた。

今回の評価検討会議での議論を踏まえ、緊急避妊薬のスイッチOTC化に向けた意見書を薬事審議会要指導・一般用医薬品部会に提出し、部会でスイッチOTCの可否判断が行われる予定だ。

今国会で成立した改正医薬品医療機器等法では、対面販売が必要な要指導医薬品である「特定要指導医薬品」の指定などの条文が新たに盛り込まれ、衆議院と参議院の厚生労働委員会でも緊急避妊薬の全国の薬局での恒久的な販売に向けた附帯決議が可決されている。あすかは15日にノルレボのスイッチOTCを国内で承認申請した。

委員の意見は「早期のスイッチOTC化」「年齢制限の撤廃、親の同意不要」については支持。ただ、薬剤師の面前服用は「条件とすべき」が多数だった。松野英子構成員（日本保険薬局協会常務理事）は「対面から始め、段階的に間口を広げていくのがいいのではないかと語った。意見書では薬剤師の面前服用の要否について両論併記し、部会に提出するとしている。

緊急避妊薬OTC化の際には地域支援体制加算の要件のひとつとされている緊急避妊薬の備蓄の項目にOTCも盛り込まれる可能性が想定されます。薬機法改正の動向に注視しつつ、様々なことに対応できるよう日頃から準備が必要になってくると感じています。

5) 健康ハートの日 2025 薬局・ドラッグストア企画「血圧測ろうぜ!」参加

ご協力をお願い

日本心臓財団より協力依頼がございました。日本心臓財団は1985年より毎年8月10日をハートの日と定め、心臓病予防啓発イベント「健康ハートの日」を同日前後の日程で行っています。2025年は健康ハートの日40周年となります。近年は、意思を同じくする4団体(日本心臓財団、日本循環器学会、日本循

環器協会および日本AED財団)が協同して、広く関連団体、企業に声掛けを行い、日本の循環器予防の一大イベントとして健康ハートの日を中心に一般市民向けのさまざまな循環器病啓発活動を行っています。昨年の「健康ハートの日2024」では、薬局企画「血圧測ろうぜ!」に全国1万以上の薬局が参加しました。2025年度は、引き続き心臓病啓発アンバサダー三杉淳選手をメインキャラクターとして「血圧測ろうぜ!」におきまして、薬局に加えドラッグストアにも協力を依頼し、本年は薬局2万軒、ドラッグストア1万軒、合計3万軒の参加を目標とされております。2025年の「血圧測ろうぜ!」は、7月1日～8月31日の期間でポスター掲示、血圧測定、リーフレットを用いた健康相談等の循環器病啓発活動を行います。

詳細はホームページよりご確認ください。参加登録もこちらから可能です。

<https://www.kenko810.com/event2025/entry/chozai/>

6)「ふらっとサークル」への参加のお願い

東京都薬剤師会では、この2年間、「東京都薬剤師会が考える薬局のあり方」について継続的に議論を重ねてまいりました。その過程では、実際に多くの会員薬剤師の皆様にご協力をいただき、誠にありがとうございます。その中で東京都薬剤師会は、あらためて地域の健康ニーズを的確に捉えた薬局の重要性を強く実感いたしました。これは、今後の薬局のあるべき姿を考える上で、大きなヒントであり、今期における最大の成果であると捉えております。そして次年度に向けては、そうした好事例をさらに可視化することで広く共有し、会員同士が刺激し合いながら学び合える環境を築くべく、新たな取り組みとして「ふらっとサークル」という集まりを立ち上げました。本サークルは、東京都薬剤師会の会員であればどなたでもご参加いただけるもので、自局の地域に根差した取り組みや、他の薬局の取り組みを共有し、新たな薬局のあり方を皆さんと共に議論したいと考えております。

趣旨をご理解のうえ、一人でも多くの会員の皆さまにご参加いただけますよう宜しくお願いします。



誕生!
ふらっと
サークル



サークル 特典

1. サークル限定研修会への参加
2. サークル限定SNSでの情報交換
3. サークル限定イベントへの参加

参加費:無料

新たな薬局のあり方、一緒に作りましょう!



ふらっとサークルに
参加をお願いします

サークル特典

1. サークル限定研修会への参加
2. サークル限定SNSでの情報交換
3. サークル限定イベントへの参加



参加費:無料



7) 【重要・再掲】地域における夜間・休日の医薬品提供体制(在宅含む)の構築、リスト化及び周知等について

厚生労働省の「薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループ」では、地域において求められる薬剤師サービスとして夜間・休日対応や在宅対応等が重要な要素として挙げられるとともに、会員・非会員を問わず地域の薬局が協力し、議論を行う必要があるとされました。また、第8次医療計画においても、在宅医療ニーズを踏まえ、麻薬・無菌製剤処理、小児への訪問薬剤管理指導、24時間対応等の体制構築が求められています。

これらの社会要請を踏まえ、日本薬剤師会より当該事項に関する体制構築と共に、地域住民へ情報の「見える化」の実現に関して依頼がございました。また、当該リストの公表は令和6年度診療報酬改定における地域支援体制加算・在宅薬学総合体制加算・連携強化加算の要件にもなっております。

豊島区薬剤師会では災害対策として既に利用しているeST-aidを用いてリストの作成と公表を行っています。加算の有無に係わらず各自薬局情報の入力・更新をお願い申し上げます。

【操作手順資料】

<https://doc.est-jp.com/n/other/shopfn/shop.pdf>

【掲載場所】

豊島区薬剤師会ホームページ > 区民向けご案内

<https://toyoyaku.jp/residents.html>



8) 【再掲】eST-aid をご活用ください

豊島区薬剤師会では災害時情報共有システムとしてeST-aidを利用しております。

会員の皆様には既にご登録頂き、毎年情報共有テストを震災が起こったことを想定して被災状況の報告をしていただいております。

eST-aidにはe-STockという各薬局における採用薬の開示および不動医薬品の公開が可能なシステムが存在し、各薬局間の小分けや不動医薬品解消に一助になればと今後活用を促進していきたいと考えております。操作方法などご不明点がございましたら豊島区薬剤師会事務局へお問い合わせください。

※災害時情報共有システム (eST-aid)

<https://est-jp.com/est-aid/>

理事会報告

日 時：2025 年 6 月 4 日（水） 午後 8 時 30 分開始 午後 11 時 20 分終了

場 所：豊島区南池袋 3-2-6 豊島区薬業会館

出席者：佐野会長 伊原副会長 佐藤副会長 江村副会長 田崎常務理事 元谷常務理事
南出常務理事 黒須常務理事 林理事 内山理事 小林理事 北川理事 原田理事
藤平理事 青嶋理事 大澤監事

5 月度理事会議事録に関して出席者全員により承認された。

報告事項

1. 東京都薬剤師会「地区及び職域薬剤師会 会長会」資料報告
2. 学術・保険担当報告
3. 防災・公衆衛生・総務担当報告
4. 地域医療・多職種連携担当報告
5. その他
・元気はつらつ報告会の件

- 西部高齢者総合相談センターの元気はつらつ報告会について案内した。
- ・ 令和 7 年度 災害医療に係る訓練等について
- 豊島区主催の令和 7 年度の災害医療に係る訓練等の年間予定を案内した。

協議事項

なし

審議事項

1. 令和 6 年度事業報告・収支決算書等承認の件
6 月 24 日開催の総会の案内状、委任状・議決権行使書、付議事項、令和 6 年度事業報告、令和 6 年度収支決算案、補足資料について承認された。
2. BCP 作成の件
BCP 案、災害用医薬品入替担当薬局の変更案について承認された。
災害時における豊島区薬剤師会活動マニュアルは、8 月の理事会までに承認することとなった。
3. 職員 夏季賞与額の件
職員の夏季賞与額について承認された。
4. 令和 7 年度健康展の件
概ね前年と同様で行うことが報告された。令和 7 年度健康展のテーマについて、メインテーマは「今こそ健康チェック!明日の元気を今日から準備」、サブテーマは、例年とおり「あなたの健康サポーター 豊島区薬剤師会」とすることが承認された。
5. 医薬協議会の件
令和 7 年度医薬協議会について、7 月 29 日（火）に着席buffetで実施することが承認された。テーマは、小林理事が選定療養その後について発表する。
6. 熱中症対策標語コンテストの件
小学生・中学生対象の熱中症対策標語コンテストについて、豊島区薬剤師会として協力することが承認された。
7. 熱中症対策アンバサダー講座の件
熱中症対策アンバサダー講座について告知文に協力団体として豊島区薬剤師会を掲載することと募集期間、配信期間について承認された。
8. 定期預金作成の件
金利の高い大和ネクスト銀行に 3 か月預金し利息を得ることについて承認された。
9. 使用済み注射針回収事業の件
令和 8 年度の区への予算要望について、赤字の補填と近年の回収数増加に伴い予想事業費の 80 万円を要望することが承認された。
10. 災害用医薬品の契約の件
令和 8 年度の区への予算要望について、災害用医薬品の契約について、医薬品について予算要望時と契約時で金額が変わること、薬価改正があった場合納入価が決まらなと契約締結ができないこと、2 回目の入替が終わらなと医薬品の金額が確定せず、契約金額と実際の金額に差が生じるなどの問題点を解決するため、入替を年 1 回とすることと医薬品の予算要望額を過去 5 年間の実績の平均の 200 万円にすること及び入替担当薬剤師への支払いの交通費を 3,000 円にすることが承認された。
11. 災害時の医療への協力についてのアンケートの件
豊島区内の薬局が災害時の医療活動に協力いただけるかのアンケート発送について、文章を再度検討することになった。
12. 豊島区難病対策地域協議会委員の再任の件
区より佐野会長の再任依頼があることにより、再任することが承認された。

豊島区薬剤師会の活動（5月）

5/1（木）	豊島区薬剤師会	学術・保険グループミーティング
5/8（木）	豊島区薬剤師会	新入会面談
5/8（木）	豊島区薬剤師会	地域医療・多職種連携グループミーティング
5/8（木）	豊島区薬剤師会	池袋あうる薬局運営委員会
5/10（土）	東京都薬剤師会	地区・職域薬剤師会会長会
5/13（火）	西部地区多職種連携の会	コアミーティング
5/14（水）	豊島区薬剤師会	5月度理事会
5/15（木）	豊島区薬剤師会	学術講演会
5/19（月）	豊島区薬剤師会	第2回薬剤師とケアマネージャーの合同ミーティング
5/26（月）	豊島区薬剤師会	防災・公衆衛生・総務グループミーティング
5/27（火）	豊島区薬剤師会	学術・保険グループミーティング
5/27（火）	豊島区在宅医療連携推進会議	
5/28（水）	豊島区薬剤師会	監査会
5/29（木）	池袋あうる薬局	移転打合せ

令和7年度の主な活動予定

- 地区薬剤師研修会
 - 第1回 令和7年8月23日（土） Web実施
 - 第2回 未定
- 薬剤師研修会
 - 第1回 未定
 - 第2回 未定
- 区民公開講座
 - 第1回 令和7年9月21日（日） としまセンタースクエア
 - 第2回 令和7年12月7日（日） としま区民センター（健康展同時開催）
 - 第3回 令和8年2月1日（日） としまセンタースクエア
- 健康展
 - 令和7年12月7日（日） としま区民センター
- 新年会
 - 令和8年1月17日（土） ホテルメトロポリタン池袋



医薬品分割販売利用案内

公益社団法人豊島区薬剤師会 会長
豊島区医薬品・情報管理センター センター長

※要遮光の医薬品（散剤、顆粒、ドライシロップ、水剤）について、仕切り書と薬ラベルに「遮光」と記載することにしました。保存に関しては各薬局にて管理をお願いいたします。

1. 分割販売品目: 医薬品約1800品目、投薬ビン・軟膏壺などの医療材料
豊島区薬剤師会ホームページに販売品目リストを掲載しております。

2. 販売単位: 容器が必要な場合は、所定の容器（有料）を使用いたします。

錠剤・カプセル	1錠・1カプセル単位
散剤・顆粒・ドライシロップ	1g単位（バラ）、1包単位（分包品）
水剤	1ml単位（バラ）、1包単位（分包品）
軟膏・クリーム	1g単位（バラ）、1本単位（チューブ）
点眼・点耳・吸入	1本単位
ハブ剤	1袋単位
坐剤	1個単位
医療材料等	1個単位

豊島区薬剤師会 HP
池袋あうる薬局・医薬品・情報管理センター
https://toyoyaku.jp/owl_center.html



3. 販売価格: 医薬品・・・薬価(消費税込) / その他医療材料等・・・取扱品目リストに掲載

4. 手数料	豊島区薬剤師会 会員	無 料	
	区外 東京都薬剤師会 会員	1 回	110 円 (消費税込)
	その他医療機関	1 回	2,200 円 (消費税込)

5. 検収・返品

医薬品受領時に必ずご確認ください受領印もしくは自署をお願いいたします。

品質管理上、返品はできません。ただし、メーカー回収の場合は、この限りではありません。

※使用期限が2ヵ月未満の場合は事前に確認の連絡をさせていただきます。

2ヵ月以上でも期限の確認が必要な方は発注書の備考欄にその旨をご記入ください。

6. 発注方法

注文方法：専用の発注書に必要事項を記入のうえ、FAXにてご注文ください。

受付時間	月曜日～土曜日	9 時 から 16 時 30 分
受取時間	月曜日～金曜日	9 時 から 17 時
	土曜日・日曜日・祝日	9 時 から 21 時 30 分

電話での注文は
お受けしておりません

※年末年始、棚卸等により臨時休業する場合があります。（ホームページでご確認ください）

※指定の発注書は、ホームページよりダウンロードできます。

7. 利用者の確認事項

初回利用時には、開設許可証の写し・都薬の会員証をお持ちの方は会員証の写しもご提出ください。

なお、豊島区薬剤師会会員の方は提出不要です。

その他開設許可更新等、管理センターが開設許可証の確認が必要と判断した場合には、再度ご提出 いただくことがあります。

8. 支払い方法

豊島区薬剤師会会員は、原則として月末日締め「翌月口座引落」となります。

その他の方は、「薬品受け取り時に現金支払い」となります。

取扱い要望書

令和 年 月 日

薬局名

以下の製品の取扱いを要望します

製品名	規格

※ 管理センターでは、会員様の要望のあるものにつきまして、取り扱いを検討し、採用するか否かを決定する資料として使用します。つきましては「取扱い要望書」に記入し、あうる薬局に提出してください。FAXでかまいません。

※ 「取扱い要望書」は、豊島区薬剤師会ホームページからもダウンロードできます。

管理センター取り扱いリスト追補

* 新規取り扱い（過去に中止または停止したものの再開、リスト作成時に漏れたものも含む）

薬品名	剤型	内用・外用
アーチスト錠 1.25mg	錠	内用
アプレピタントカプセル 80mg 「サワイ」	C	内用
インヴェガ錠 3mg	錠	内用
エクラークリーム 0.3%	本	外用
カムシア配合錠 HD 「あすか」	錠	内用
カムシア配合錠 LD 「あすか」	錠	内用
ジintas錠 50mg	錠	内用
調剤用パンビタン末	g	内用
デュロキセチンカプセル 30mg 「サワイ」	C	内用
ネリゾナクリーム 0.1%	本	外用
ノルバスク OD 錠 2.5mg	錠	内用
バソメット錠 0.25mg	錠	内用
パンドルローション 0.1%	本	外用
マイスタン錠 5mg	錠	内用
ライトゲン配合シロップ	ml	内用
ラゲブリオ錠 400mg	瓶	内用
ラコール NF 配合経腸用液（ミルク 400ml）	パウチ	内用
リアルダ錠 1200mg	錠	内用
リズミック錠 10mg	錠	内用
リバロ錠 1mg	錠	内用
リポパス錠 20	錠	内用

* 取り扱い中止

薬品名	内用・外用
アデホスコーフ腸溶錠 20	内用
アムロジピン錠 10mg 「サワイ」	内用
イクスタンジ錠 40mg	内用
エースコール錠 2mg	内用
クエチアピン細粒 50% 「サワイ」	内用
チスタニン糖衣錠 100mg	内用
チニダゾール錠 200mg 「F」	内用
デカドロンエリキシル 0.01%	内用
バランス錠 10mg	内用
ベージニオ錠 100mg	内用
ルリコナゾール軟膏 1% 「イワキ」	外用